

京都大学生協 吉田キャンパス運営委員会 棚からまんじゅう



[店舗]

取り組み概要

日時：2026年05月11日～2026年05月22日
場所：京都大学 吉田キャンパス
吉田ショップ
販売数：1494個

背景や概要：
「吉田キャンパス運営委員会」の認知度向上
と活性化を目的に、購入とシールの2形式の
投票方法でまんじゅうを販売。

気軽さと協同で実現した店舗作り

POINT.1

組合員が気軽に参加できる、企画作り



日常的に販売されているまんじゅうを対象とし、2週間の投票期間を
設けることで、誰でも気軽に参加できる企画としていました。

難しい手続きや特別な準備を必要としない仕組みが、組合員の参加
への心理的ハードルを下げ、自然な参加を促進。

結果として売り場への関心や来店機会の増加にもつながり、身近な
商品を活かした企画が魅力的でした。

POINT.2

学生主体×職員との連携

企画立案・宣伝POPの作成は学生側が、売り場づくりや商品管理
は職員側から働きかけ協力して実施する体制。

それぞれの強みを活かした役割分担により、実現性と魅力の両立
が可能となっていました。

学生主体の自由な発想と、職員の実務的な支援が組み合わせるこ
とで、完成度の高い企画運営につながった点が大きな成果です。



POINT.3

「吉田キャンパス運営委員会」って？



京都大学には吉田・宇治・桂の3つのキャンパスがあり、それぞれ京
大生協の「キャンパス運営委員会」が設置されています。

その中でも吉田キャンパス運営委員会は、吉田キャンパス内の吉田
南構内を担当しています。

運営委員会は学生・教職員・生協職員で構成され、購買や食堂など
各生協店舗の運営状況の共有や、企画の立案・運営を担っています

現場の状況を直接把握しているからこそ、組合員の意見やニーズを
反映し、日々利用される生協店舗をより便利で魅力的なものにするた
めの多様な取り組みを行っています。

